

平成17年3月25日
第12号

素流協 News

平成17年3月25日発行・発行所 岩手県素材流通協同組合 盛岡市菜園1丁目3-6/電話019(652)7227/FAX019(652)7227

第三回素流協理事会開催される

去る三月十八日午後一時半から

農林会館会議室において、岩手県

素材流通協同組合の第三回理事会

が開催された。年度末の多忙な時

期にもかかわらず理事・監事全員

(十名)が出席して熱心な審議がな

された。議題は、次の四つである。

(1)平成十六年度収入、費用の見通しについて

(2)平成十七年度事業計画の策定について

(3)平成十七年度、東北森林管理局とシステム販売による合板用丸太の売買契約について

(4)第二回通常総会開催について

以下、各議題についての事務局説明および審議の概要を述べる。

議題(1)について

○事務局説明

①ホクヨープライウッドおよび北

日本プライウッドへの合板用素材供給実績については、平成十七年

二月末までに四九、二〇〇㎡であ

り、残り三月の供給量を五、五〇

〇㎡と予想して今年度は五四、七

〇〇㎡、サワグルミを含めると約

五五、〇〇〇㎡の見込みとなる。

これは対計画量比で一〇一%の達

成率となる。

②売り上げ見込み額は、実質平均単価が八、三〇〇円/㎡程度であることから、総額約四億六千万円で、手数料収入一千五百万円が見込まれる。

③今年度二月時点での二工場への出荷実績比率はホクヨーP対北日本Pが六五対三五である。

○質疑

(質問) ..今年度は計画量を達成する見込みということであるが、来年度以降について出荷量がセーブされることはないか。

(答え) ..需要側(合板工場)から上限量を指示されていない。逆に、まだ需要側に受け入れ余力は

あると考えており、後ほど次年度の事業計画案を審議いただくが、来年度の計画量を大幅に増やしている。

議題(2)について

○事務局説明

①平成十七年度における事業計画量(素材供給量)の総量を八四、〇〇〇㎡(月間七、〇〇〇㎡)とする。その内訳は、組合員生産素材六三、〇〇〇㎡(平成十六年度計画量の約十五%増を見込む)、国有林とのシステム販売協定に基づく素材(素流協が国有林から山元で購入して、合板工場に供給する)二〇、〇〇〇㎡、土木用素材一、〇〇〇㎡である。

②販売金額は、約七億円、販売手数料一千七百五十万円を見込む。

③来年度の合板工場への供給計画量を上記のように八三、〇〇〇㎡を見込んでいるが、素材供給先の二工場の月間素材消費量は五〇、〇〇〇㎡であり、この消費量の二〇%程度まで国産材にしたいとい

う意向もあることから、今後とも素流協は積極的に供給量を増加させる努力をしていく。

○質疑

(質問) ・ホクヨーPおよび北日本Pでは、石巻の工場のように丸太や十一cmからという細い径級で、かつ長さ一m材から使えるようにならないか。

(答え) ・計画はあるようであるが、詳細については承知していません。

議題(3)について

○東北森林管理局は、平成十七年度に岩手県に所在する二つの合板工場と素材のシステム販売に関する協定を締結し、約二万mの丸太を生産山元で販売する新しい事業を実行することになった。この事業については、生産山元で素流協が各森林管理署から素材を購入・引渡しを受けるとともに合板工場に直接納材することになる。このため、現行の素流協定款では共同販売のみの事業範囲になっている

ことから、共同購入までを含めた事業内容の拡大を要する。また、県外からの購入素材も入っていることから県外を含めた事業地域の拡大も考慮する必要がある。

さらには素流協が購入した丸太を運搬する手段として緑ナンバーのトラックの必要性が生じることから運送業者の素流協への加入の可能性も検討すべきである。これらの事項について、当該事業を実施する方向で検討して、次回の理事会および第二回通常総会において定款変更を提案することになる。

定款変更の趣旨について、全理事から賛同を得ている。

○質疑

(質問1) ・従来からの素流協を通しての会員の工場渡し価格と説明のあったシステム販売における価格と二重価格を設定するのか。

(答え) ・極力素流協価格と同じの一本価格でいきたいと考えている。

(質問2) ・生産地点の違い、たとえば遠方の産地では山元価格が

安くなりすぎることはないか。そうになると、森林管理局から価格は正(高く)の圧力が強くなるのではないか。また、運賃をプールする機能を考える必要があるのではないか。

(答え) ・質問にある事項についての問題は存在する。しかし、森林管理局としても今回の新しい試みの実現化に大いに期待していることから、素流協としても事業開始まで当局と協議を重ねて着地点を見出したい。解決できると考えている。

(質問3) ・この事業は、国有林から素流協へ立木販売ではなく、丸太で販売するというのか？

(答え) ・請負生産者が山元工場にはい積みした丸太を当該管内森林管理署から素流協が購入することになる。

議題(4)について

○第二回通常総会を五月十二日(木)に設定したい旨を提案したが、全員賛成との了承を得たところである。

なお、開催場所、時間等についての詳細は、後日会員各位に連絡することにしていく。

「その他」

合板工場から、出荷が続く不適格丸太について、嚴重なる抗議があり、このことに関して写真をもとに説明し、注意を喚起した。

・曲がり材は、四mで矢高が直径の二〇%まで。二mでは一〇%まで。
・北日本Pに対して元口径で五〇cmを超える丸太を出荷するときは、四m材で出荷する。

・ホクヨーPは、二mでも四mでも元口径が五〇cmを超えると、リングバーカーに入らず、皮が向けないので出荷は不可である。

以上が第三回理事会の審議概要である。最後に、素流協組合員各位におかれましては、五月十二日に開催する第二回通常総会には万障繰り合わせの上出席されますようお願いいたします。

ヒロシの独白

『現下のわが国の

森林・林業を考えるⅣ』



○森林の持つ「経済外効果」の重要性について

「経済外効果（効用）」については、素流協ニュース第六号のこの欄に掲載しているので重複するところがあるかもしれないが、今回は、森林の多様性とその森林の造成・維持を担っている農山村等地域社会に焦点を合わせて述べていくことにします。

経済活動とは、人間が物や情報やサービスを作り、それを売ったり買ったりすることです。したがって、一般的に人々はこの経済活動が活発に行なわれる場所に集まり、そこで物（財）の生産および売買に適した環境を作り出すとともに、その活動を一層活発にすることに精を出すことになります。このことが人間を農山村（田舎）から都会に移動させる大きな要因であり

ます。このことは、わが国の経済発展の過程を辿ってみると一目瞭然であります。現実には田舎では過疎化・高齢化が進み、農業、林業、

漁業といった一次産業の生産性は他産業に比して余り伸びず、地域社会は依然として衰退を続けているというのが実態であります。一方、高度に進んだ経済活動によって派生する幾多の深刻な問題、たとえば国内的には自然災害を受けやすくなった国土の体質変化や生活環境の全体的な悪化が進んでおります。地球規模で見ると、地球の温暖化、酸性雨の頻発化と広域化、オゾン層の破壊等が顕在化してきております。これらの諸問題は、つまるところ空気、水、土壌等環境資源が質的に悪化していることが原因であると言っても過言ではありません。先に述べた「経

済外効果」すなわち、「値段がつけられない、販売することができないが人間にとって有益なもの」がこの空気、水、土壌などのことなのです。いまこそ、私たちは、空気とか水とか土という環境資源をしつかりと保全し、大事に使っていくという根本的な考えに立つことを強く求められております。この空気・水・土壌等を作り出したり浄化したりするのに、森林は極めて重要な役割を果たしているほか、土砂崩壊・流出を防止することや人間に憩いや安らぎを与えること、さらには近年になって健康を保持するための医療効果があることも注目されてきました。このような森林の持つ多様な機能の重要性を一般の人々に認識してもらうために、近年、森林の持つ機能毎の評価を金額に換算して公表

されておりますが、だからといってこれらの機能のほとんどは経済活動（商取引）の対象になっていないのが実態であります。

農山村等地域社会における主要な産業、すなわち、一次産業としての農業・林業・漁業は、空気や水や土壌を基盤として生産活動が行われております。これらの環境資源が質的に悪化したり破壊されたりすると農林漁業が成り立たなくなります。そこで農林漁業に携わる人たちは、生産基盤である空気や水や土壌を常に清浄で肥沃な状態に保つべく気をつかい、また努力するのであります。さらに、生産活動によって作り出される生産物（農産物、木材、養殖海藻類等）の生育過程で、生産物そのものが炭酸ガスを吸収して酸素を作り出しています。また水を浄化し、貯留し、山崩れを防止するのです。このように農林漁業は多くの効用を生み出すという極めて有益な働きをしているのであります。とりわけ森林は、人間が生存し続けて

いくために不可欠な酸素を大量に作り出しますが、その生成過程で炭酸ガスを吸収して樹木体内に炭素を固定します。時あたかも「京都議定書」が発効し、わが国は、一九九〇年を基準年として二酸化炭素削減の目標(六%)を義務付けられたわけですが、この約束を履行するためには、わが国の産業、交通、生活環境等あらゆるものからの二酸化炭素排出量を削減するとともに、健全な森林の造成・維持を積極的に推進していくことが必要であります。特に林業に携わる私たちは、森林の多様な機能の重要性を再確認して生業である林業を通じて活力ある森林の造成・維持に努める必要があります。

今月のトピックス

素流協より

今年二月、左記の方二名が素流協の会員となりましたのでお知らせいたします。

- 一、住所 稗貫郡大迫町大迫三

一六七一

平成17年 2月の販売実績

ホクヨープライウッド(株)、北日本プライウッド(株)の2社に出荷した合板用丸太の平成17年2月の販売実績は下記のとおりです。前月2千㎡を下回ったホクヨープライウッド(株)向けでしたが、5ヶ月ぶりに3千㎡台になりました。北日本プライウッド(株)向けは2千㎡前後で3ヶ月間安定しています。両社併せて、7ヶ月ぶりの5千㎡台となりました。昨年も2月から出荷量が増えましたので、季節的変動と考えられます。累計では、49,555㎡となり対年間出荷計画比99.9%、最終月である3月分を入れると、およそ55,000㎡、110%前後の実績になるものと予想されます。

| 項目 | 長級 | 径級 | 販売先 | | 計 | 累計 | 出荷割合 | |
|-------|-----|-----|---------------|--------------|-------|--------|-------|-------|
| | | | ホクヨープライウッド(株) | 北日本プライウッド(株) | | | 樹種 | 毎長級 |
| 樹種 | m | cm | ㎡ | ㎡ | ㎡ | ㎡ | % | % |
| スギ | 1.9 | 14上 | 779 | 794 | 1,573 | 15,292 | | 59.8 |
| | 4.0 | 14上 | 736 | 654 | 1,390 | 10,290 | | 40.2 |
| | 計 | | 1,515 | 1,447 | 2,963 | 25,582 | 51.7 | 100.0 |
| カラマツ | 1.9 | 14上 | 875 | 81 | 956 | 15,707 | | 95.0 |
| | 4.0 | 14上 | | 75 | 75 | 819 | | 5.0 |
| | 計 | | 875 | 156 | 1,031 | 16,526 | 33.3 | 100.0 |
| アカマツ | 1.9 | 14上 | 797 | 262 | 1,059 | 6,697 | | 94.3 |
| | 4.0 | 14上 | 10 | 56 | 65 | 403 | | 5.7 |
| | 計 | | 807 | 317 | 1,124 | 7,100 | 14.3 | 100.0 |
| サワグルミ | 1.9 | 18上 | 15 | | 15 | 347 | 0.7 | 100.0 |
| 合計 | | | 3,212 | 1,921 | 5,132 | 49,555 | 100.0 | 100.0 |

会社名 (有)加藤木材店
 代表取締役 加藤章二
 入会日 平成十七年二月
 二、(賛助会員)
 住所 青森市大字高田字川
 瀬三一四一七
 会社名 青森県国有林材生産
 協同組合
 理事長 坪 晃
 入会日 平成十七年二月

落穂拾い

▽近年、「人と森林との共生」という言葉をよく耳にするようになったが、筆者は、この言葉を聞くたびににかしら違和感を抱く。「共生」とは、生物社会にあって、二種類以上の生物種が同一の環境で棲息を始めると、当初はお互いに争って環境や生物種の生存に混乱をきたすが、しかし、そのうちに生物種特有の自己への取り込みを繰り返す中で、相互の機能を補

いながら、しなやかな共存の関係が生まれ、新しい環境が作られていく。このような関係を「共生」というのである。筆者が気に掛かっているのは、人と森林との関係を見ると、相互に働きかけが行なわれるのではなくその形態が常に人間から森林へ一方的・片務的ではないかということだ。現実人間は森林に働きかけている態様が、相互に機能を補いながら、しなやかな共存の関係を醸成していると言えるのかどうか？

▽「郵政民営化」について、政府と自民党の仲間同士の葛藤はなはだしく、どうも政府は譲歩に譲歩を重ねて、結果的には、骨抜き民営化となりそうな雲行きである。かつて、堺屋太一氏がこんなことを言っていたよ。改革の難しさは、どんな改革案も具体化すれば少数の支持しかえられないことだ。「現状が悪い、改革が必要だ」という者が八割、九割を占めたとしても具体案を示されると半数は無関心になり、残りも改革の方法と賛否が分かれる。議論は百出し賛否の運動は盛んになるが、改革派の中の分裂も対立も激しくなる。これに対して現状維持を主張する既成の受益者集団は事情に詳しく結束も固いのである。どうやら郵政民営化の動向も堺屋説の様相を呈してきたようだ。